



中高生フォトグラファー応援マガジン

boys & girls photo magazine 2019 6-9 TopEye No.302



第191回
TopEye
賞

「ある日。雨の日。」岡 優成
[千葉県立四街道高等学校 2年]



ガンバレ写真部!

「好き」こそ、飛躍のエネルギー!

佐賀県立唐津東高等学校

「ありがち写真」から一歩踏み出す誌上写真教室

TopEye フォトスクール

花火を「三脚なし」できれいに撮る

TopEyeOB/OG 訪問

渡邊 葵 さん

(日本大学芸術学部写真学科 3年 / 千葉県立四街道高等学校 OG)

締切間近!! 7月9日必着

第67回ニッコールフォトコンテスト

第4部『TopEye & Kids』部門

顧問の先生・
部員の皆さんで
ぜひ、回覧して
ください!

「TopEyeフォトコンテスト」受賞作品
(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロード
ができます。ぜひご覧ください!

ニコトップアイ

検索



TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3500レンズキット
- ・賞状



「ある日。雨の日。」 岡 優成

千葉県立四街道高等学校 2年

- D750
- AF-S NIKKOR 85mm
- Aオート (f/1.8)
- ISO800

何気ない日常。でも何か心に引っかかる瞬間。それを切り撮って魅せてくれるのが写真の面白さでしょう。本作品を見た時そんな日常に起こる、派手ではないけど記憶に残る瞬間を思い起こすことが出来ました。窓の外は雨粒と光り輝く町並み。バックミラーに映るドライバーの目線。それらが何とも言いえないドラマを絶妙に生み出しています。身の回りに起こる見過ごしがちなシャッターチャンス、自然体で切り撮る事が出来たのではないのでしょうか。(熊切)

表紙に大きく載ってるよ!!

第191回 TopEye賞 受賞

岡 優成さん

受賞のコトバをどうぞ!!



TopEye賞に選んでいただきありがとうございます。「良いものが撮れた!」と思っていた作品なので、とても嬉しいです。対向車のライトによって煌めく窓の雨粒と、バックミラーに映る祖母の姿がとても印象的で、シャッターを押しました。今回の賞は、いつも写真にアドバイスをくれる友人や顧問の先生がいたからこそこのものです。これからも自分の心が動いた瞬間を写真で残していけたら良いと思います。本当にありがとうございました。

準TopEye賞

「交わらない交差点」 森川 友葉

神奈川県立瀬谷高等学校 1年

- Nikon 1 V3
- 1 NIKKOR VR 10-30mm
- S オート (3200 秒)
- 露出補正 +0.3EV
- ISO オート

交わっているから交差点であって、この矛盾したタイトルと交わりそうで交わらない線達のもどかしさが、何とも言いえない世界を作り上げています。この時期、被写体として多く登場するプールの底。薄くはられた水は様々な表情を生み出しフォトジェニックです。その反射や水しぶきに着目する作品が多い中、偶然が生んだデザインに目を向け、シンプルな切り撮りで美しい構図を描くことが出来ました。(熊切)



賞品

- ・ニコンデジタルコンパクトカメラ W300 BK (ブラック)
- ・賞状



審査員 藤岡亜弥

審査員 熊切大輔

広島県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを教えて」「私は眠らない」国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。

東京都生まれ。東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部に入社。その後フリーランスの写真家として独立。広告や雑誌などで「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。公益社団法人日本写真協会理事

瞬間を「切り撮る」ことで生まれるストーリー

熊切大輔

本年度から「TopEyeフォトコンテスト」審査を担当させていただきます、写真家の熊切大輔です。よろしくお願い致します。初めて皆さんの作品を拝見してまず感じたのは、表現力の豊かさと自由さ。そして何より若々しいパワーが伝わってきました。瞬間を切り撮るのに大事なものは、シャッターチャンスを逃さない瞬発力と構図を捉える感覚です。今回は構図の面白さと切り撮りの妙を活かした作品が多かったように思えます。説明的にならず、切り撮ることによって生まれる新たな意味やストーリー。そんな表現を作品の中からいくつも見つける事が出来ました。今後ともよりいっそう形や技にとらわれない、シャッターチャンスや被写体探しを積極的に挑戦していただければと思っています。

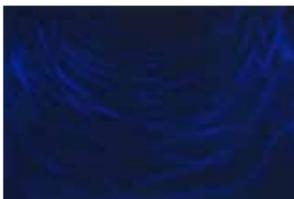


「時間」寄川 いぶき

香川県立坂出高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ
- 55-250mm ●M (1/4000秒・f/5.6) ●ISO1600

運動会の玉入れのシーン。きつと声援で賑やかなはずですが、時間が止まっているような静寂な写真です。赤い球が宙で止まり、視線の向こうに時計が見える。赤い球がニュートンの林檎にも見え、何かを示唆するような不思議な物語のある写真です。(藤岡)



「Silence」村田 実優

八代白百合学園高等学校 (熊本県) 3年

- D5600 ●AF-S DX18-140mm
- Aオート (f/5.6) (3枚とも) ●ISO800 (3枚とも)

水族館で撮った写真だそうです。タイトルが「Silence」というだけあって無音の深海を思わせる神秘的な写真です。カメラで遊びながら科学の実験をしているよう。絵作りのセンスもあり、とてもいい組写真でした。(藤岡)



「祝卓の華」塩川 健生

大阪府立成城高等学校 2年

- D3300
- AF-S DX18-55mm ●A オート (f/3.5)
- 露出補正 -1EV ●ISO800

食事の風景を撮った写真はよくあるのですが、よく見る「明るい団楽」とはちょっと違った印象を受けました。まわりが沈んで食べ物キラッと光っている異様な雰囲気がおもしろかったです。(藤岡)



「祭支度」村松 真帆

愛知県立津島東高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-135mm
- M (1/400秒・f/5、1/500秒・f/5、1/800秒・f/5、1/640秒・f/5.6)
- ISO100、200、1600、200



ほのぼのとしたお祭りの始まりが表現されています。寄ったり、引いたりカメラワークが効いて、とてもいい組写真に仕上がりました。どの写真も目に映る瞬間を軽やかに捉えていて、好感が持てました。(藤岡)

受賞ポイント

- TopEye賞 …… 100ポイント
- 入選 (5作品、うち組写真最大2作品) …… 50ポイント
- 準佳作 (20作品) …… 20ポイント
- 準TopEye賞 …… 70ポイント
- 佳作 (10作品、うち組写真最大3作品) …… 30ポイント
- ※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!



「冥海の中」佐藤 大輝

宮城県白石工業高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm
●Sオート (1/400秒) ●露出補正 -0.3EV
●ISO100



「海老」鈴木 隆司

大阪府立生野高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/5.7) ●ISO800



「あれ」伊藤 七海

埼玉県立戸田翔陽高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/9) ●ISO400



「私の制服」西尾 水実

東京都立八丈高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●M (1/1600秒・f/4) ●ISO200



「FLASH」宮崎 美奈

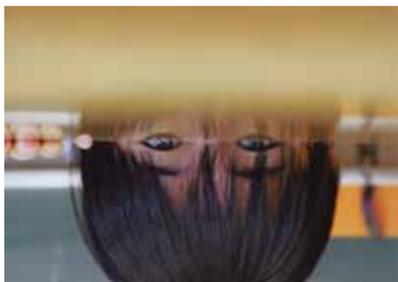
和歌山県立神島高等学校 3年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/5、f/5、f/5.6、f/6.3) ●露出補正 -1.3EV、-1.7EV、-0.7EV、-1EV
●ISO400 (4枚とも)



「過ち」儀間 梨々香

沖縄県立浦添工業高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●M (1/125秒・f/7.1、1/125秒・f/7.1、1/80秒・f/5.6)
●ISO200、200、1600



「虚と実」山口 瞳子

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 (群馬県) 4年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●Pオート
●ISO6400



「ツッパリおにぎり」 村田 みこと

新潟県立長岡農業高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●Pオート
●ISO 400



佳作

賞品
・ND オリジナル
リバーシブルポーチプロ
・賞状



「群れ」森下 颯太

広島県立庄原格致高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●70-300mm
●M (1/4000秒・f/5.6)
●ISO100



「Distortion」太田 愛有未

福井県立丹生高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●55-250mm
●Sオート (1/25秒)
●ISO6400



「失恋」山根 由真
富田高等学校 (岐阜県) 1年



「ハレの日」山田 夏妃
沖縄県立知念高等学校 2年



「タ方の1ページ」近森 胡心
香川県立高松桜井高等学校 1年



「人のリズム」伊藤 円
大阪府立成城高等学校 1年



「好きっていつて♡」松本 紗英
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 (群馬県) 4年



「迫ル」大根 幹也
千葉県立四街道高等学校 3年



「KOIのぼり」畠山 いつみ
宮城県農業高等学校 3年



「暗室の誇りは」恩田 有佳子
長野県屋代高等学校 3年



「Springtime」山本 涼夏
熊本県立第二高等学校 3年



「いい湯だなあ〜」井川 恵里
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「炎節」
寶槌 ちひろ
和歌山県立
神島高等学校 3年



「通り雨のいたずら」宮下 星来
群馬県立富岡実業高等学校 2年



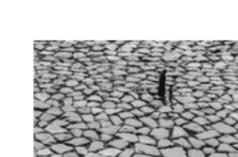
「日本最古の歴史とともに」清水 咲良
香川県立坂出商業高等学校 2年



「まだ」畠山 いつみ
宮城県農業高等学校 3年



「水の宴」市原 大
神奈川県立瀬谷高等学校 2年



「荒れ果てた世界で」秋山 遥香
山口県立下松高等学校 2年



「食料」楠本 遥香
和歌山県立神島高等学校 2年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「タイムトンネル」近藤 樹里
愛知県立知立高等学校 2年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「みてみて！」村橋 柚香
富田高等学校 (岐阜県) 1年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年

準佳作 ・賞状



「注目的！」植田 小雪
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年

TopEye 2019年度 成績中間発表
フォトコンテスト

1位	千葉県立四街道高等学校	120ポイント
2位	神奈川県立瀬谷高等学校 八代白百合学園高等学校 (熊本県)	90ポイント
4位	大阪府立成城高等学校 和歌山県立神島高等学校	70ポイント
6位	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 (群馬県) 愛知県立津島東高等学校 香川県立坂出高等学校 宮崎県立佐土原高等学校	50ポイント
10位	富田高等学校 (岐阜県) / 宮城県農業高等学校	40ポイント

▶12位 (30ポイント) 宮城県白石工業高等学校 / 新潟県立長岡農業高等学校 / 埼玉県立戸田翔陽高等学校 / 東京都立八丈高等学校 / 福井県立丹生高等学校 / 大阪府立生野高等学校 / 広島県立庄原格致高等学校 / 沖縄県立浦添工業高等学校
▶20位 (20ポイント) 群馬県立富岡実業高等学校 / 長野県屋代高等学校 / 愛知県立知立高等学校 / 山口県立下松高等学校 / 香川県立坂出商業高等学校 / 香川県立高松桜井高等学校 / 熊本県立第二高等学校 / 沖縄県立知念高等学校

次回締切は ▶ **9月13日** **当日必着** (作品応募概要をよく読んでご応募ください)

ガンバシ 写真部!!

この夏は佐賀県で高総文祭開催! ということで、県の実力派写真部をご訪問! でも話を聞いてみたら、10年ほど前はなくなりかけていた部だったとか!? それを全国大会出場まで育ててきたのは、やっぱり生徒と先生の「写真ラブ」パワーだった!

佐賀県立唐津東高等学校



後列:小島さん、藤田さん、田島さん、仲町さん、片峯さん、大熊さん、顧問の宮川先生
中列:小濱さん、古川さん、西山さん、原野さん、浦川さん、堀口さん
前列:平川さん、井上さん、伊藤さん、南さん、江口くん



唐津城内に学校があった時代の「旧門」を、移築して展示!



活動場所の生物教室は、珍しい動物の剥製もたくさん!



県の博物館に貸し出したというカモノハシ

部員: 17名(三年5名、二年5名、一年7名)
歴史: 以前は「美術部写真班」として活動。2014年度ごろから大会入賞など実績が増え始め、現在では実質独立して「写真部」として活動中!
活動: 毎週火曜にミーティング。その他は個人撮影など。他部の活動も撮り、学校パンフ用の撮影も。日帰り・泊まりの撮影会も、不定期ながら結構やっています!
機材: デジタル一眼レフカメラは2台、プリンタ2台。部員はデジタル一眼を持っています。
特色: 校長室前の廊下スペースに、学校からの依頼により写真を展示。部活動や校舎風景といった学校紹介写真や入賞作品などの常設展示場として活用しており、お客様にも好評だそうです。展示用のインク代・用紙代は学校から提供!

写真好き生徒が「班」からコツコツ!

「実は10年ほど前に、いったん廃部状態だったようです」と顧問の宮川先生。でも、写真好きの生徒さんが美術部所属の「写真班」として、毎年コツコツ活動を継続。6年前に宮川先生が指導を始めてから県展や高文連の作品展などに活発にチャレンジし、今では県トップレベルの写真力に! 続けていけば、きっといいことがある。だよな!!



サッカー部

顧問の宮川先生
九州二科展の大賞受賞、個展2度開催の実力派!
登山部も兼任するパワフル顧問。

校長室前には、部の特色をとらえた写真続々!

登山部

茶道部

「部活」と「校舎」が定番モデル!

全員が一度は取り組むテーマが「他の部の活動風景」&「校舎」。校長室の廊下に展示されていた部活風景の写真を見ると、構図や色合い、用具の組み合わせなど工夫の宝庫! 「部活の撮影は毎年3月に行いますが、部員の1年間の成長が見られて面白いですよ」と先生。校舎は学校の印刷物に活用するそうですが、築10年ほどのモダンな校舎に加えて、歴史を語る「旧門」も撮りがいありそう! どちらも高校写真部の定番、しかも個性が出るテーマですね!

部員 × 顧問の「上達のヒケツ」!

部員	顧問
先生のPCに先輩のいい写真が入っているの、それを見る	生徒が撮った作品に、個別指導でアドバイス
同じ被写体を、露出・WB・アングルを変えて何枚も撮る!	取材の合間にも熱心に作品談話!
写真雑誌の作品を参考にする	
インスタで写真家をフォロー!	
ただただ、撮る	
ただただ、撮る	などなど



学校の立地がなんと「東経130度」ジャスト! 数字との組み合わせも面白い!



きれいに撮ったものを画像編集でもっときれいにするのが好きです。
夕方の、空のグラデーション。見る間に変わる色合いの、大好きな瞬間を捉えたい!
花、ぬいぐるみ、お菓子に文具。可愛いと思ったらすかさずパチリ。
入部はやほやほです。山から見下ろす眺めが好き!
人は、楽しそうに。花は、きれいな色に撮りたい。
同じ瞬間は二度とないから、撮る瞬間が一番楽しい!
片峯さん 県総文祭 入賞作品
大熊さん撮影
動物全般、好きです。家でも色々飼っています。(亀、ヘビ、犬、デグー...)
平川さん 県総文祭 入賞作品
江口くん 県総文祭 入賞作品
背景ボケが好き。被写体に「スツ」とピントが合う瞬間が面白い!
虫は、好きじゃないけど虫をアップで撮るのは面白いかも。
人物写真が好きかな。特に、横顔や後ろ姿を追求しています。
仲町さん撮影
原野さん撮影

活動も作風もフリーダムだ!

全体活動は週1~2回。個人活動が中心のせいか、科学部や登山部、放送部などの兼部部員にバリエーションをやってる子、そして「遊びにきてます」「ほとんどモデル専門」という向きも(笑)。でも、いろんなタイプが混在する状態って、創造性には大事かも! 「好きな被写体は?」という質問にも、動物からアート、日常かわいい系に自然派と様々です。そのせいか、撮影会で先生が「これを撮ってみよう」と提案しても、ムシして自分の撮影に没頭する部員が結構いるそうです(笑)。



撮影会は、九州北部を縦横無尽!
佐賀 伊万里、有田などの焼き物の里
長崎 佐世保 など
福岡 博多~久留米~大牟田~有明海
熊本 熊本城~阿蘇
大分 久住~日田方面
宮川先生の撮影テーマでもある久住山で!
佐世保の造船工場地帯にもGO!
隣の伊万里市の図書館でも作品展示!

「好き」こそ飛躍のエネルギー!



えーっと、だいたいモデル専門です(笑)
人物でアートする演出写真が撮りたくて入部しました!
日常の中のなにげない季節感をとらえたくて、カメラ持ち歩いています!
3年部長の井上さん
2年部長の堀口さん
井上さん 県総文祭 入賞作品
伊藤さん 県総文祭 入賞作品
堀口さん 県総文祭 入賞作品
人物をモデルに(主に浦川さん)幻想的な写真を撮りたい!

「第43回全国高等学校総合文化祭2019さが総文」へ向け活動中

佐賀県高等学校文化連盟写真専門部専門委員長 鈴木卓

佐賀県高文連写真専門部には現在16校の写真部が所属し、県高校写真研究会、県高校総体撮影会、県総文祭写真展を中心に活動しています。昨年の県総文祭写真展では172点の応募があり、その中から次年度の全国総文祭や全九州総文祭の作品を選出しました。また、今年7月の「第43回全国高等学校総合文化祭2019さが総文」では写真部門の催しが佐賀県嬉野市で開催されるため、それに向けた準備活動なども行っています。

高文連から

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、メールで編集部まで topeye@nikon.com

「フォトスター」

いつもの被写体でグッと魅力的な写真が撮れるちょっとした工夫を、毎回ご紹介!

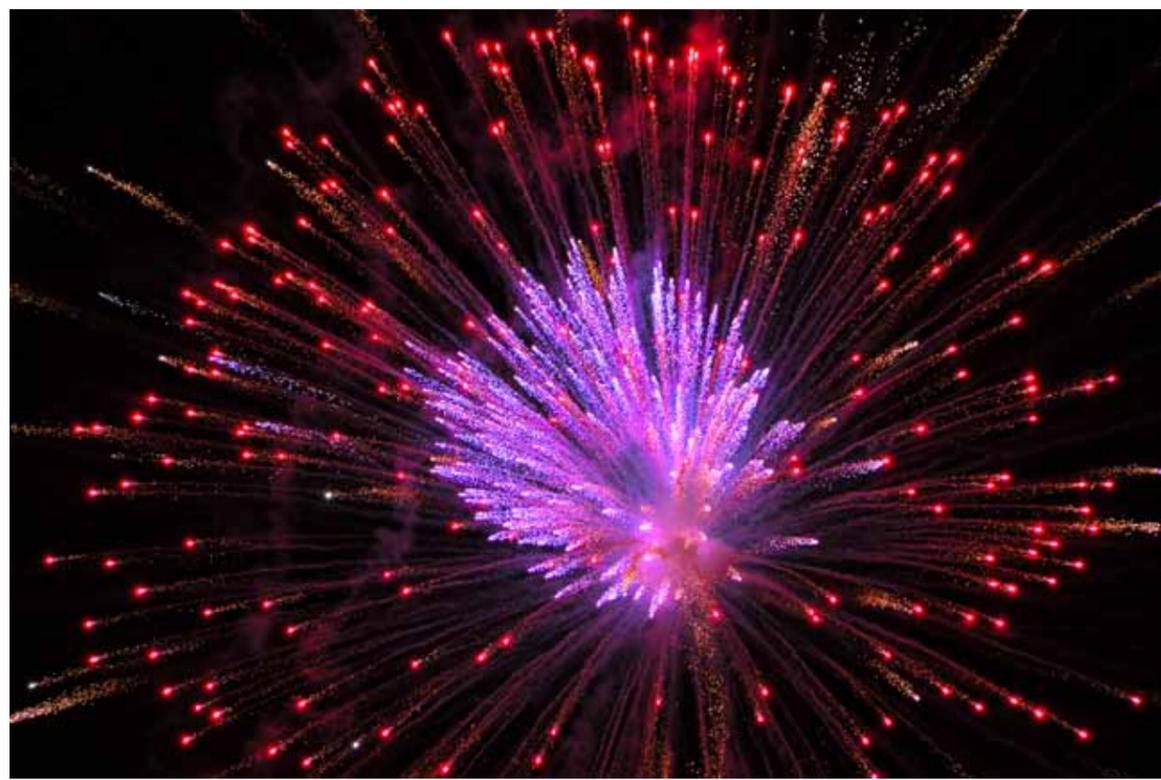


今月のテーマは...

花火を「三脚なし」できれいに撮る

夏といえば花火大会!ブレないようにと三脚を設置して撮る人も多いけれど、レンズやカメラ設定をちゃんと選べば「手持ち」でもブレずに、美しく撮れるんだよ!

今回の作例



【撮影データ】
 ●使用カメラ:Nikon D500 ●使用レンズ:70-300mm(焦点距離:300mm)
 ●オート(ISO1600) ●露出モード:プログラムオート(1/500秒, f/8)
 ●露出補正:-2.0 ●ホワイトバランス:白色蛍光灯
 ●ピクチャーコントロール:スタンダード ●フォーカスモード:AF-C

撮影意図

花火の、文字通り「華やか」な感じを伝えるため、いちばん大きく開いた瞬間を画面いっぱいにとらえたよ。一発でとらえるのはなかなか難しいので、多くのデジタル一眼についている「連写」機能を活用!

ありがちな撮り方



一発撮りにありがちなケース。タイミングが早かったため広がりがらず、少し地味な感じになった。

今回は望遠レンズを使用!



AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR

作例みたいに画面いっぱいの花火を撮るには、標準レンズやキットのレンズでは物足りないかも。このくらいのズームレンズを使えば、離れた場所からも狙えるよ。

POINT 1

設定の基本

「P(プログラム)オート」「ISOオート」で露出のバラつきを防止!

花火大会は、暗い中で強い光の花火が明滅し、光の量が絶えず変わるので、露出設定は難しい。そこで、露出モードは状況に合わせて絞り値やシャッター速度を自動調整してくれる「Pオート」に。そして「ISOオート(ISO感度自動制御)」機能があるカメラなら、ぜひこれも活用しよう!

バックナンバーをCHECK 2018年12月号などの「TopEye デジタル写真教室」に解説があります。

【設定の目安】花火大会なら

ISO感度設定	ISO感度	100	ISO感度: 800
感度自動制御	ON		ON
制御上限感度	25600		制御上限感度: 3200
低速限界設定	AUTO		

※画像はカメラのモニター画面の一例です。

POINT 2

撮影のキモ

「連写」機能で美しい瞬間を狙え!

一発で撮ろうとするとタイミングが難しいし、ピントもとっさに合わせにくい。だから「連写」機能をONにして、打ち上がった瞬間から追い続けよう。

こんな時の便利機能

動く被写体には「AF-C」モード

AF(オートフォーカス)の「AF-C」モードは、被写体との距離が変わってもずっとピントを合わせ続ける機能だ。今回みたいな動く被写体に便利!

バックナンバーをCHECK 2017年10月号、12月号などの「TopEye デジタル写真教室」に解説があります。

シャッター半押し!



この状態からシャッターボタン「半押し」で追いかける。

カメラについているこのマークのボタンを押すと「連写」モードに!(ニコンのカメラの場合)

連射スタート!



ここからシャッターボタンをグッと押して連写開始!

連写した中から「ベストショット」を選ぼう!



花火が完全に開ききるまで連写。

POINT 3

演出のコツ

「ホワイトバランス」でイメージづくり!

花火の色は、ホワイトバランスの設定で大きく変わる。「見た通り」に写したければ、この場合は「白色蛍光灯」がおすすめ。別の設定にすれば、個性的な色が楽しめるかも。色々実験してみてね。



白色蛍光灯
実際の色の感じが再現できた。



オート
やや青みがかかった感じになった。



晴天
青みを抑えて、少し暖かみのある色合いに。

さらに...

試して見よう! 合成機能

地味に撮ってしまった複数のカットを合成することで、思わぬ面白さが出ることもあるよ。最近のカメラには撮った写真をその場で合成できる機種もあるし、パソコンのソフトを使う手もある!



形はいいけど、色彩が足りない1枚。



タイミングが遅くて、色が少し消えてしまった1枚。



使用したカメラで2枚を合成。なかなか華やかな感じになった。

花火大会を撮影する時は...

▲ 注意!!

- ◎会場のルールを守ろう
取りやすいからといって、立ち入り禁止の場所や民家の敷地内には絶対入らないようにね!
- ◎他の観客に配慮しよう
見物客が多く集まるので、撮影機材は使うものだけをコンパクトにまとめて持っていこう。また、懐中電灯の使用も周りの迷惑になるので注意!
- ◎バッテリーやSDカードは大丈夫?
連写機能を使うので、意外とバッテリーや記録メディアを消費する。バッテリーはフル充電、メディアは初期化したものを使い、できれば予備も持って行こう。

次回は、室内で自然光を使った「物撮り」に挑戦する予定!



講師/高藤 勝則

元気な先輩に出会いたい!

TopEye OB/OG訪問! —— キャンパス編 ——

写真を学ぶ先輩に
学生生活をインタビュー!



SENPAI-
file.21 渡邊 葵さん
日本大学芸術学部写真学科 3年

千葉県立四街道高等学校OG

「希望」で第173回TopEye
フォトコンテスト入選

「TopEye全国高校生
写真サミット2017」出場



大学では、写真の課題がもりだくさん!

高校時代はどちらかというと、部活やアルバイトに一所懸命だったかな。写真学科なら好きなことだけしていられそう...と思って受験したんですが、入ってみたら普通に勉強もあって。当たり前ですね(笑)。「写真基礎演習」の授業では「写真サミット」でお世話になった秋元貴美子先生に教わっています。「毎月テーマに沿って5枚組の写真を制作する」とか、「自分の苦手なテーマで撮る」などたくさん課題が出るので大変ですが、楽しくがんばってます。

缶やボトルを魅力的に撮る

好きな授業は「広告写真」です。講師の先生は実際に企業でも活躍されている方。最近ではスタジオで商品の撮影に取り組んでおり、缶ビールやペットボトルといった品物を魅力的に見せるライティングなど、難しいですが勉強になります。通学は千葉県の実家から。電車の中では、スマホで映画を観ていることが多いです。演出やカメラアングルなど、参考になることも多いです。

休日のお散歩スナップ、楽しんでます

高校時代はポートレートや人物の演出写真ばかり撮っていましたが、今は知らない街をお散歩してスナップを撮るのがすごく楽しくなりました。愛用は40mmの単焦点レンズ。身軽な上に、自分の足でアングルを探る楽しみもあります。途中喫茶店などに寄り道したりして、のんびり歩いています。アルバイトも色々やっています。ホテルのフロントやアイドルの握手会のサポートは楽しかった!いろいろなタイプの人を観察できるのが面白いです。



渡邊さんの最近のお散歩スナップから。「ビル街も面白いけど、知らない商店街や住宅街を歩くのも好き」だそうです。

写真を講評し合うのは、お互いプラスになる!

自分の写真を説明したり、人の写真に意見するのは、難しいけど大切。違う視点からの意見は言われた側にも言う側にもプラスになるので、先輩・後輩関係なく積極的にやってみてほしいです。思ったことを頭の中で整理して言葉にする力は受験や就活でも生きると思えますよ!

学校写真展レポート

2/16~17

第2回帝塚山学院中学校高等学校 写真部校外展 「COLORS」

会場：堺市立文化館ギャラリー



TopEyeフォトコンテストに毎回たくさんの作品を寄せてくださる帝塚山学院中高写真部の皆さんが、昨年に続いて校外展を開催。今回は「COLORS」をテーマに、部員さんそれぞれの感性を表現する作品がずらり。まさに「十人十色」の作品世界が広がりました。今後とも、力作をよろしく願います!!

3/9~13

[帝塚山学院中高OG]

成瀬 夢 写真芸術展

「Yume is Dream展」

会場：ai gallery (大阪市中央区)



TopEyeほか数々のコンテストで入賞、「写真サミット」にも参加してくれた成瀬 夢さんが、卒業記念の個展を開催。ずっと取り組んできた「バリエ」の写真に、学校の課題でつくった立体作品も合わせた独自の表現。400名を超えるお客さんが訪れたそうです。この春から、大阪の写真専門学校に進学された成瀬さん。今後ともご活躍を!!

3/9~12

埼玉県立妻沼高等学校 第2回校外写真展 「希風堂寫真館 ~卒業写真展とこの一年~」

会場：くまがや館 2階ギャラリー (埼玉県熊谷市)

昨年度の埼玉県高校写真展で最優秀賞、日本写真家協会JPS展18歳以下部門優秀賞など、この数年目覚ましい活躍を展開している妻沼高写真部も、この春に写真展を開催。200名の観客が訪れました。特に初日は学校の卒業式当日でもあり、卒業生部員にはこの上ない記念になったそうです。昨年度はコンテスト参加の他に、年6回も写真展を開いたという妻沼高、今後を楽しみにしています!



写真展・活動レポート待ってます!

TopEyeでは、全国の中高写真部の活動をドンドン紹介する予定。写真展や撮影会、面白い活動など、編集部までレポートください!

- ① 学校名・クラブ名
- ② 顧問名と部長名
- ③ 学校の住所・電話番号
- ④ 連絡可能なメールアドレス

〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11
アクアビル 201
(株)アドバタイズ TopEye 編集部宛
FAX (03)5148-0566
E-mail : topeye@nikon.com
※TopEye フォトコンテスト応募の宛先とは異なります。
ご注意ください。

TopEye出張写真ゼミ 開講レポート

3/31

北海道札幌東商業高等学校

参加校：北海道札幌東商業高等学校、北海道大麻高等学校、
北海道札幌平岸高等学校

講師：浅野 久男 氏

北海道を中心に活動するニコンカレッジ講師の浅野久男先生が、3校・24名の生徒さんに写真授業。撮影の基本を学び、校内の写真映える場所や他部の活動の様子を被写体に撮影実習。学校間の交流も行いました。



6/1

福島県立会津学鳳高等学校

参加校：県立会津高等学校、県立会津工業高等学校、県立会津学鳳高等学校、
県立喜多方桐桜高等学校、会津若松ザベリオ学園高等学校

講師：和田 直樹 氏

ニコンカレッジの写真講座でも活躍の和田先生が、福島県の5校・41名に写真の基本をレクチャー。撮影実習は「元気のある写真」「考えている写真」などの課題で友達同士を撮影。みんなの日頃の作品の講評も行われました。



各地講習会・講演会レポート

東京都高文連

4/26

平成31年度 東京都高校写真連盟 初心者研修会

会場：東京都立小石川中等教育学校

講師：倉持 永 氏

昨年度から実施している新入生対象の研修会。今回は、祭りやスポーツなど動きのある写真を得意とする倉持永先生を講師に迎え、カメラ講座や六義園、巣鴨駅前で撮影会、講習会を行いました。今後の成果に期待!!



香川県高文連

4/27

中讃・東讃地区 写真部活動基礎講習

会場：香川県立坂出商業高等学校

香川県では2地域で毎年恒例の講習会を開催。それぞれ7校・86名、3校・22名を集め、撮影実習や作品講習会、レクリエーションも交えて楽しく写真術を学びました!



4/28

西讃地区 技術講習会

会場：香川県立観音寺総合高等学校

新潟県高文連

5/3

写真専門部 「十日町きものまつり」合同撮影会

会場：講習会 新潟県立十日町高等学校 会議室

撮影会 十日町市内「十日町きものまつり」歩行者天国

講師：斎藤 勝則 氏



着物の街・十日町の恒例行事を題材とした、写真講習会と撮影会。「TopEye フォトスクール」の斎藤先生を講師に迎え、カメラの基本講習と街に出る撮影講習の2本立て。撮影講習では、きもの姿の人々の他に、友達同士をモデルとした人物撮影の講習も行いました。

山口県

協賛：株式会社ニコンイメージングジャパン
株式会社カメラのワタナベ

6/2

「目指せ!TopEye写真サミット ~写真をもっと楽しもう~」

参加校：県立下松高等学校、県立防府高等学校、
県立下松工業高等学校、県立新南陽高等学校

会場：周南市美術館 (山口県)

講師：ミゾタユキ 氏

ミゾタユキ先生が
講演されました。



写真家・林忠彦の作品を多く所蔵する美術館で、中高生向けの講演会が開かれました。講師は「TopEye 全国高校生写真サミット」でおなじみのミゾタユキ先生。午前中は、撮影を楽しむコツなどを中心としたお話、午後からは社会人の参加者が加わったミニ写真大会「学生vs大人 写真対決!」で盛り上がりました!

今年は、九州・佐賀へ!



第43回全国高等学校総合文化祭

2019 さが総文

7月27日(土)～31日(水)
(写真部門行事7月28日～30日)

写真部門会場：嬉野市体育館

今年の高総文祭は、吉野ヶ里遺跡や有田焼で知られる佐賀県!! ニコンもブースを設けて写真部を応援します。最新のカメラ展示の他、2018年度「TopEyeフォトコンテスト」と「写真サミット2019」の作品展も。ぜひ来てね!



ニコンブースにはTopEye関連の優秀作品も展示!

「2018年度TopEyeフォトコンテスト入賞作品展」および「TopEye全国高校生写真サミット2019優秀作品展」から、一部作品を提示する予定です。

昨年の「2018信州総文祭」ニコンブース展示の様子



昨年の「2018信州総文祭」の様子

高総文祭の優秀作品はニコンプラザに展示!

第43回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展

8月20日(火)～9月2日(月)日曜休館
ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1
●フォトセミナー 8月24日(土) セミナールームにて
講師：熊切大輔氏

9月12日(木)～9月18日(水)日曜休館
ニコンプラザ大阪 THE GALLERY
●フォトセミナー 9月14日(土) セミナールームにて
講師：西村仁美氏

※上記期間中、両会場にて「第6・7回日韓中高校生フォトコンテスト」入賞作品も展示の予定です。

第67回 ニッコールフォトコンテスト 第4部『TopEye&Kids』部門

2018年度フォトコンテストの「TopEye賞」作品もノミネートされます!

18歳以下限定! 作品募集中!

ニコンが毎年開催するフォトコンテストは、もうすぐ締め切りです。ぜひチャレンジを!

今号には応募票付のチラシ同封!!

応募資格 18歳以下の方
(2019年7月末現在)

- 使用機材自由 ●テーマ自由
- 応募点数制限なし

応募締切 7月9日(火)必着

大賞賞品 10万円相当の
写真撮影奨励賞

審査員 ●ニッコールクラブ顧問
大西みつぐ氏
小林紀晴氏
佐藤倫子氏
ハナブサ・リュウ氏
三好和義氏
●ゲスト審査員
星野佑佳氏
藤森邦晃氏

※審査員は都合により変更になることがあります。

第66回「TopEye&Kids」部門 ニッコール大賞

「まつ毛長くなりたい系女子」
高松 志帆さん (山口県立下松高等学校)



部員みんなで応募しよう!

TopEye配布校 一括応募 制度

本誌「TopEye」をお届けしている学校は、学校単位で一括応募ができます。(WEB応募は除く)

※詳細はニッコールクラブ事務局(TEL:03-6718-3018)へお問い合わせください。

詳しくはニコンイメージングのウェブサイト!

ニッコールフォトコンテスト 検索

注意 TopEye フォトコンテストや他のコンテストへ、二重応募をされませんようご注意ください。(ノミネート作品を除く)

東北6県の高校生 注目!

第5回 日刊スポーツ 「みちのく高校生スポーツ写真コンテスト」

応募テーマ「アスリートの夏」

東北6県の高校・高専に在学中の学生を対象とした写真コンテスト! 個人や部活動を通じて撮影した高校スポーツの練習風景、県大会などで躍動するアスリートの姿や表情など、スポーツのジャンルを問わず募集します!

最優秀賞賞品 ニコンD5600 18-140VRレンズキット

応募締切 9月17日(火) 当日消印有効

発表 優秀作品を9月下旬発行の「日刊スポーツ」東北6県版に掲載

主催：(株)日刊スポーツ新聞社 協賛：(株)ニコンイメージングジャパン

東北6県の高校・高専にチラシ同封

顧問の先生へ

TopEye誌面アンケートにご協力ください!

誌面の充実のため、配布校の皆様のご意見をうかがうアンケートを実施いたします。同封の回答用紙にご記入のうえ、編集部までFAXにてお送りください。

今回のご回答期限

9月13日までにFAXでお送りください。

FAX:03-5148-0566

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社ニコンイメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL:03-6718-3020

次号は
10月21日
発行予定です